

原発事故後4年目を前に

福島の子童養護施設の今



未曾有の災害といわれる東日本大震災から、4年が経過しようとしています。福島県は地震・津波被害に加え原子力発電所の事故によって、居住制限・帰還困難地域が発生し、この地域の住民は仮設住宅や仮住まいの生活を、続けています。そしてそれ以外の地域も、低線量被曝を受けている住民が生活しています。

一方、近年、児童養護施設に入所する子どもは被虐待児が半数以上を占め、様々な困難に直面しています。福島県は施設に措置後も住民票を自宅にしているため、放射能被曝による健康被害をモニタリングのための県民健康調査などの

案内が来ませんでした。これをNPOの立場で補完すべく活動を開始した「福島県の子童養護施設の子どもの健康を考える会」は、低線量被曝の健康への影響が長い時間かけて出現することを予測して、将来に備えた活動をしています。

従来から児童養護施設の職員の定員の少なさは指摘され消費増税で改善が図られる見込みですが、福島で新たに福祉職に就く若者は減少しています。このような福島の現状と取組を、伊藤児童養護施設長と、発災1年後から現地で活動するNPOの澤田共同代表が報告します。

117

日時：2015年 1月 17日(土)
14時～16時(開場:13時半)

入場無料
※席上カンパあり

会場：日本キリスト教団 **名古屋中央教会**

名古屋市東区久屋町8-6 TEL:052-971-9012 1階マナホール
※地下鉄 東山線・名城線 栄駅 5番出口出ですぐ

講師： 堀川愛生園 園長
前・日本キリスト教団 内丸教会牧師

いとう のぶひこ
伊藤 信彦

NPO法人
福島県の子童養護施設の
子どもの健康を考える会 共同代表

さわだ かずみ
澤田 和美



※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。

主催：名古屋キリスト教協議会

問合せ：TEL052-411-5367(日本イエス・キリスト教団名古屋教会)

後援：日本キリスト教婦人矯風会
名古屋YWCA